■「World Footwear Yearbook 2026」が語る2025年の靴■
生産246億足。生産、輸出ともにシェア50%超えの中国がトップ

靴ジャーナリスト　**大　谷　知　子**

「ワールド・フットウエア・イヤーブック（World Footwear Yearbook）」は、ポルトガル靴産業協会（APICCAPS）発行の靴産業データブックだ。世界、及び主要84ヵ国（2026年版）の生産、消費、輸出入の数量、金額を集計し、分析を加えている。2011年に発行を開始し、16版となる最新の2026年版（掲載データは2025年）が7月に発行された。

最新版の主要データを紹介し、2025年の靴産業の姿を明らかにしてみたい。

【生産】横ばいの246億足に留まる

2025年の世界靴生産量は、246億足となった。前年比は、0.1 %増であり、実質的には横ばいに留まった格好だ。

また、昨年発行の2025年版では、2024年の世界生産量は推定値で239億足としたが、その後、修正が加えられ、2024年は前年比10%増であったことが明らかになった。

2020年はコロナ禍発生により大幅に落としたが、年を追うごとに回復を示してはいる。しかしきれいな右肩上がりというわけにはいかず、増加すると翌年は落としたりと安定していない。

国別に見ると、トップ10は【表1】の通り。1位は、依然として中国。年間生産量137億足、シェア55.6%。シェアは年々落ちているが、いまだに50%を超えている。

2位は、インド、次いでベトナムと続き、地域別に見ると、アジアが88.7%を占めている。アジア以外では、ブラジル（3.4%）、メキシコ（0.9%）と中南米が続いている。

【消費】1人当たりは北米がトップ

消費量でも地域別では、アジアがトップ。世界消費量の56.0%を占める。

しかし人口1人当たりの消費量では、4.6

【表1】2025年生産量トップ10

順位	国	足数（単位:100万足）	世界シェア
1	中　国	13660	55.6%
2	インド	3000	12.2%
3	ベトナム	1658	6.7%
4	ブラジル	848	3.4%
5	インドネシア	782	3.2%
6	パキスタン	627	2.6%
7	バングラデシュ	554	2.3%
8	トルコ	391	1.6%
9	カンボジア	264	1.1%
10	メキシコ	215	0.9%
	トップ10合計	21998	89.5%

【表2】2025年消費量トップ10

順位	国	足数（単位:100万足）	世界シェア
1	中　国	4817	21.4%
2	インド	2772	12.3%
3	米　国	1950	8.7%
4	ブラジル	787	3.5%
5	日　本	639	2.8%
6	パキスタン	620	2.8%
7	バングラデシュ	455	2.0%
8	ドイツ	412	1.8%
9	ロシア	373	1.7%
10	インドネシア	370	1.6%
	トップ10合計	13194	58.7%

足で北米がトップ。ヨーロッパ4.1足、オセアニア3.9足、南アメリカ3.3足と続き、アジアは2.6足、アフリカ1.6足だ。

国別（【表2】参照）に見ると、トップは中国の48億足。インド28億足、米国19億5000万足と続いている。日本は、6億3900万足で5位となっている。

世界の消費量は記載されていないが、シェアから逆算すると、225億足ほどになる。

【輸出】3億6500万足でドイツが4位

中国が依然として圧倒的な輸出国であり続けている。年間輸出量は、90億足（【表3】参照）。しかし10年前は69.1％だったシェアは、61.2％に縮小している。

代わってシェアを伸ばしているのが、ベトナム。中国には到底及ばないが、10年前の7.3％から11.2％と2桁に乗せた。

注目は、ドイツ。イタリアが9位なのに対して、ドイツは4位につけている。ドイツの生産量は4400万足。輸入は7億3300万足、そして消費は4億1200万足。つまり、再輸出を活発に行っている。ベルギーとオランダも、再輸出が認められる。他市場への流通基地となっているからだ。

また、平均輸出価格は、2016年には8.87ドルだったが、2023年に11.23ドルと過去最高を記録。2024年は下落したが、2025年は過去最高を上回る11.65ドルとなった。

地域別に見ると、アジアの平均輸出価格は、8.02ドルなのに対して、ヨーロッパは、4倍以上の34.76ドル。市場に供給している製品の違いを如実に表している。

【輸入】興味深い消費に占める輸入シェア

輸入のトップ10は【表4】に示した通り。

米国19億8600万足、ドイツ7億3300万足、そして日本6億3200万足と続く。

興味深いのは、消費に占める輸入のシェアだ。先進国をピックアップしてみると、

米　国　101.8％
日　本　98.9％
ドイツ　177.7％
フランス　132.2％
英　国　105.5％
イタリア　130.0％

日本を除くすべての国が、100％を超えている。つまり、輸入した製品を再び輸出している。米国と英国は、100％を超える率が小さいので微妙なところだが、フランス、イタリアは30％、ドイツに至っては70％を超えている。これは、再輸出がビジネスとして行われていることを示している。

100％下回る日本は、国内消費を賄うために行っている輸入であり、国産物の比率は1.1％のみということになる。輸入によるビジネス、あるいは国産の強化に取り組むべきだろう。

【表3】2025年輸出量トップ10

順位	国	足数（単位:100万足）	世界シェア
1	中　国	9016	61.2%
2	ベトナム	1658	11.2%
3	インドネシア	585	4.0%
4	ドイツ	365	2.5%
5	インド	268	1.8%
6	カンボジア	253	1.7%
7	ベルギー	227	1.5%
8	オランダ	220	1.5%
9	イタリア	205	1.4%
10	トルコ	184	1.2%
	トップ10合計	12980	88.0%

【表4】2025年輸入量トップ10

順位	国	足数（単位:100万足）	世界シェア
1	米国	1986	15.7%
2	ドイツ	733	5.8%
3	日本	632	5.0%
4	フランス	474	3.8%
5	イタリア	376	3.0%
6	スペイン	365	2.9%
7	ロシア	350	2.8%
8	英国	344	2.7%
9	ポーランド	302	2.4%
10	オランダ	298	2.4%
	トップ10合計	5859	46.4%